南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！アクティブ南関中」

R４南関中学校学校便り

自主　創造　友愛

NO. ２２（文責　永杉尚久）

心のアンケート結果

学校生活に関するアンケートを実施しました。主な内容の結果は、下の表の通りです。

心のアンケート結果（%）

	R３	R４
質　　問	はい	はい
①学校が楽しい	88	89
②授業が分かる	76	82
③自分に自信がある	67	68
④役に立っていると思う	63	64
⑤いじめられたことがある	2	1
⑥いじめを見たり聞いたりしたことがある	6	1

学校生活に満足している生徒とそうでない生徒がいることが分かります。

また、自己肯定感や自己有用感を感じていない生徒がかなりの割合でいることも分かりました。

いじめの訴えもありました。内容は、「仲間外れ」「無視」「うたれたり、蹴られたりした」等です。訴えがあった生徒には、担任が聞き取りを行い被害・加害両方の話を聞いて、家庭と連携しながら解決に向けた指導を行いました。その後いじめは収まっていると生徒は答えていますが、今後も注意して見ていきます。今回のいじめは、友達や家族に相談をしてくれたので、気付いて対応ができました。

いじめは、見ようとしなければ見えませんし、分かりにくいものです。学校で見落とし、見つけきれていない部分があるかと思います。ご家庭において、お子さんの様子に変化があるときは遠慮なくご相談ください。学校にはいじめ相談の窓口を設置しています。担任や管理職もお話を伺います。

併せて表の①～④については、「授業が分かる」はやや改善の傾向があるものの、ここ数年あまり変化が無い状況で推移しています。生徒たちが充実した学校生活を送れるように、自信と意欲を持って取り組めるように、様々な角度から知恵をいただきながら取り組んでいきたいと考えています。

今日の論語

子曰く、「人の過つや、各々其の党に於いてす。過ちを観てここに仁を知る。」と。

先生は言われた、「人はそれぞれ自分の程度に応じた間違いをおかします。そして、その過ちをした後をよく観察すると、その人が思いやりのある人かどうかが分かるのです。」と。

失敗はだれにでもおきるものです。その時に、原因を自分に向けるか、周囲に向けるかでその後の状況が大きく変わってくると思います。失敗したのは自分であってだれのせいでもないのですが。これが難しいです。

ちょっと気になる

ある本を読んでいて目がとまった言葉がありました。それは、**『心配するな、きっとうまくいかないから』**という言葉です。これって、励ましの言葉になるんだろうかと思い詳しく読んでみました。発信者は楠木健さんという方です。楠木さんは、「上手くやろう」「成功しなければならない」という思い込みがあると、失敗を恐れて動き出せなくなってしまう。そこで、自分の思い通りに上手くいくことなんて、世の中には一つも無いという前提で「失敗してもともと」という気持ちで挑戦してみよう。そうすれば、失敗した時にダメージは少なく、万が一上手くいけば喜びは大きくなると提案されています。

こんな考え方もあるのですね。視野がちょっと広くなった気分です。